



仙高の風

令和3年12月24日発行 第9号

仙高からの
ぞむ水水平線
の12月の晴れ
の1日、普通棟
の4階、一枚
教室から一年生



◆**第2学年がホームルーム研修旅行へ!** 11月28日~12月1日の4日間、第2学年がHR研修旅行に行ってきました。本校の研修旅行はクラス毎に行き先が違います。これまでクラスの実行委員が中心となり、研修テーマやプランを立案し、関西、四国、九州、沖縄など方面を決定。詳細ルートも旅行者に何度も相談しながら生徒主体で決めました。「SDGs」に重ねた探究活動が全クラス共通のテーマでした。新型コロナウイルス感染症予防に細心の注意を払い安全第一で実施しました。1月27日、研修の成果をプレゼンテーションします。



HR研修旅行実行委員長の宇賀神登夢さん(2年) 「学ぶところはしっかり学び、楽しむところは楽しみ、メリハリのある4日間でした。事前研修からSDGsを取入れた研修を行いました。私たちのクラスは特に11と15の理解を深めながら準備を進めました。委員長としては学年全体に感染リスク拡大防止を強く呼びかけました。私のクラスは移動に飛行機、電車、バス、フェリーも活用し、九州方面から関西方面まで移動しながら研修を行いました。クラスの仲間といういろんな場面で助け合いながら一層親睦を深められたし、研修の充実度はナンバーワンだと思います。改めて、研修旅行の成功は私たちを支えてくださった先生方、計画を支援してくれた旅行者の方々、何より無事安全を願い、決して安価ではない費用を出してくれた家族、様々な支えがあったからです。HR研修旅行発表会を1月の「総合的な探究の時間」で行います。



◆12月23日、冬季休業前全校集会が行われました。



岩井誠校長「4月から学校を止めずにここまでこれた。みんなの心がけの賜だし保護者の方々のお陰です。」「失敗」について先人の言葉を参考に捉え直してみよう。」「PDCA」を意識して回してみよう。きっと学びが高まり成長できるはずだ。そして諸君の学びや持っているものを是非学校に還元してほしい。」とメッセージされ令和3年を締めくくりました。続いて、佐藤政宏生徒指導部長から、「逆境だったが皆で工夫して学校行事もやってこれた。私は仙高生をリスペクトしている。」と今年一年の頑張りを褒め称えました。教務部持立完教諭からはご自身の人生経験を踏まえながら「ステージが変わる3年生、次に向けてしっかり準備をして欲しい。前向きに、そして貪欲に頑張ってください。」「還元はすぐにできる。3年生は経験値を後輩に伝えよう。1・2年生諸君は先輩に教えてもらおう。」と述べられました。



◆全校集会に先立ち賞状伝達を行いました。



全校一斉の大掃除!

生徒も先生も皆で大掃除。
(2年生教室)
毛掻きでほうきもきれいに。



協力し合いながら窓の掃除(1年生教室)

◆新人大会・コンクール結果!

・バドミントン男子団体ベスト7

2回戦 対仙台工3-0、3回戦 対名取北3-1、
4回戦 対東北生文大高3-0 2年連続ベスト7

・全国高等学校文芸コンクール

阿部優(2年)「詩部門」入選

・全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022) 内定

阿部優(2年)「俳句部門」

◆高校演劇コンクール東北大会直前!!

演劇部部長の齋藤優花さん(2年)Q東北大会出演が決まったときの気持ちと部員の反応を教えてください。A他の出場校に圧倒されていて、



名前を呼ばれたときは嘘じゃないかと信じられなかったです。ポカンとした顔で頬をつねっている人もいました。Q県大会の直前に「創立80周年記念式典・生徒公演」(東京エレクトロンホール)がありました。全校生徒や来賓の方々の前で演じたときに気持ちはどうでしたか?A観てくださっている一人一人の心に届くようにとの思いでステージに立ちました。Q創立80周年や県大会の直前に

部員の皆さんで震災遺構を見学されたとのこと。自分達に何か変化はありましたか?A震災を軸にした脚本(「missing」)を演じる上で改めて被害の大きさやその後のことを知り、分からなかった感情などをどのように演じて伝えればいいのか考えるようになりました。Q東北大会への意気込みをお願いします。A部員全員、全力で挑み成功させます。東北大会は12/26、青森県で開催されます。

◆1学年 国際理解ホームルーム交流会を実施しました。

11月25日、宮城県国際化協会(国際理解教育支援事業)から、講師としてチョウ セイギョクさん(中国)、ソエジマ イリナさん(ロシア)を紹介いただき、オンラインでの国際交流会を開催しました。英語文化圏以外の地域の理解を深めることを主に、講師の方々から母国語で



の自己紹介やお国事情、生活習慣などをクイズなどを交えて紹介してください、また、生徒とのやり取りが白熱するシーンもみられ、生徒にとって楽しく貴重な体験となりました。講師の皆様ありがとうございました。「Sharig12月号」でも詳しく紹介しています。



◆12月14日、「教育振興会奨学資金授与式」が行われました。本校の学校運営を支援する外部の団体、「一般財団法人仙台市立仙台高等学校教育振興会」から今年度も奨学生に奨学資金が授与されました。代表理事の大江英俊様から「将来の夢や目標を叶える一助にしてください。これからも勉学や部活動に精励を」と激励の言葉がありました。写真：大江代表理事

◆12月20日、1学年PTA研修が行われました。

ベネッセコーポレーション東北支社から山本善大様をお招きして、「これからの大学入試について」と題して講演いただきました。新しい大学入試に関する詳細なデータを基に、1年次生からやっておくべき事、親の心構えなどアドバイスいただきました。また、今春慶應義塾大学に入学した本校卒業生の浅井勇暉さんとオンラインでつなぎ、どんな高校生活だったのか、大学での様子など様々なお話をいただきました。大変有意義な研修となりました。



仙台高校創立80周年記念事業として製作した『記念誌』を県内の高校や市内の中学校、メディアテーク、県立図書館などに寄贈させて頂きました。

←発送作業に協力する写真部の皆さん。

◆第36回全国高校文芸コンクールで入賞!

全国高等学校文化連盟・読売新聞社が主催する文芸賞でこの度、阿部優さん(2年)の作品(詩)が入選しました。作品名「よる」



「作品は寝不足に悩んでいた頃、夜という時間帯に感じたことを表現しました。耐えがたい孤独に一人は辛い、消えてしまいたいという暗い気持ちも嫌な出来事も、全部夜の暗闇に溶かせたらいいなと。」「東京での表彰式に参加し、全国レベルの人は作品に対する熱量も向き合い方も格が違いました。私もその熱量に負けにくいくらい貪欲に自分の表現を追求したい。」

夜になりたいと思ったことがある
布団に体を横たえている時
このまま体が溶けて、夜空に混ざってぐるぐる地球を回れたらいいな、と
夜は自由意志の集まり
明日に備えてぐっすり眠るのも
深酒に溺れ喘ぐのも
残業代に縋って仕事を片すのも
自由
その一言だけで突き放してしまうなんて
あまりに酷だとは思っけれど
星の光も見えない濁った夜空の下で
一人布団の隅を漕ぎ出す
「仲間に入れてはくれないか」
夜に意志はない
回っていくだけ
夜が垂らしていった寂しさに染まって洗っても落ちない希死念慮の黒ずみ
太陽は漂白なんてしてくれなかった

◆ダンス部、ゼビオアリーナ仙台で披露!

12月5日、「仙台89ERS」の試合のオープニングとハーフタイムで本校ダンス部がダンスを披露。試合を観に来たたくさんのお客さんを楽しませました。試合は片岡大晴選手(仙高卒)の大活躍で熊本に競り勝ち2連勝しました。



◆高大連携事業、大学院生が研究授業を実施

今年度から本校は、宮城教育大学との協働事業を進めております。具体的活動として、教職大学院との共同研究や学校の課題等の解決に向けた助言等をいただきます。今回は、大学院生から実践的な研究授業を提供していただきました。教材開発や授業改善の参考となるもので有意義な時間となりました。



◆校内読書感想文コンクール受賞生徒決定!

本校は一人一人に青春の思い出となるような貴重な読書体験を期待して、長期休業中の読書活動を推奨しています。今夏も任意で提出された読書感想文の中から優秀作品を選び、学校長から表彰されました。
最優秀賞 佐々木遥奈さん(2年) 太宰治『斜陽』
同 最優秀賞 内海舞桜さん(2年) プレイディみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

〒981-8502 仙台市青葉区国見6-52-1 Tel 022-271-4471
担当:主幹教諭 板橋俊文 URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/> 『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます。